

## 山田外務副大臣のアルジェリア訪問

12月27日(火)

12月18日～19日、山田賢司外務副大臣は、我が国政務レベルとして4年ぶりに、本年で我が国との国交樹立60周年を迎えたアルジェリアを訪問し、アマール・ベラーニ外務次官、アフマド・ザグダール産業大臣、及びムハンマド・アルカブ・エネルギー・鉱業大臣と会談した他、日本企業関係者との懇談を行いました。外務省 HP:

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/me\\_a/me1/page3\\_003561.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/me_a/me1/page3_003561.html)



## アルジェリア合気道連盟に対する草の根文化無償資金協力契約署名式

11月18日(金)

11月18日、河野大使は、アルジェ市内のスポーツ施設 La Coupole にてアルジェリア合気道連盟に対する草の根文化無償資金協力契約に署名しました。アルジェリアにおける草の根文化無償の実施は、本件が初の案件となります。アルジェリア合気道連盟は、合気道のみならず剣道や居合道の普及推進にも力を入れており、今回の契約により日本国政府から総額78,088ユーロの資金援助にてスポーツ用マットや剣道用具を購入します。署名式にはアルジェリア全国から約1,300名の合気道選手が集まり、署名式を祝賀した他、合気道、剣道、居合道の代表選手による実演が披露されました。





## ガルダイア県知的障害者支援団体「El Rahamat」に対する草の根・人間の安全保障無償資金贈与契約署名式

11月17日(水)

11月16日、アルジェリア外務・在外自国民コミュニティ省臨席の下、在アルジェリア日本国大使公邸にて、草の根・人間の安全保障無償資金贈与契約署名式を実施しました。署名は、河野章大使と、バキル・ドウドゥ知的障害者支援団体「El Rahamat」代表の間で行われました。人間の安全保障に貢献する地域のNGOに対し無償資金供与を行う「草の根」プログラムの枠組において、日本国政府から総額45,264ユーロの資金援助が行われるものです。今回の無償資金協力は、知的障害者支援団体「El Rahamat」によるデーツ加工機材等購入にあてられ、ガルダイア県の知的障害を持った女性等の雇用創出に資することで、社会参画

及び経済・社会的自立を通じた社会生活の向上に寄与することになります。



## 河野大使のアウン製薬産業大臣訪問

11月10日(金)

11月10日、河野大使は製薬産業省においてアウン製薬産業大臣と面談を行いました。河野大使からは、同分野に対する日本企業の関心を説明し、両者はアルジェリアの製薬産業発展に向けた見通しについて意見交換を行いました。



## ティアレット県孤児支援団体「Kafil el Yatim」に対する草の根・人間の安全保障無償資金贈与契約署名式

11月7日(日)

11月7日、アルジェリア外務・在外自国民コミュニティ省及び報道関係者同席の下、在アルジェリア日本国大使公邸にて、草の根・人間の安全保障無償資金贈与契約署名式を実施しました。署名は、河野章大使と、ラルビ・ジェラブ孤児支援団体「Kafil el Yatim」代表の間で行われました。人間の安全保障に貢献する地域の NGO に対し無償資金供与を行う「草の根」プログラムの枠組において、日本国政府から総額 46,699 ユーロの資金援助が行われるものです。今回の無償資金協力は、孤児支援団体「Kafil el Yatim」による医療器具等購入にあ

てられ、ティアレット県の孤児たちの健康と福祉に資することとなります。



## 令和 4 年秋の外国人叙勲受章者の発表

11月3日(木)

11月3日、日本政府はアルジェリア人2名を含む令和4年秋の叙勲受章者を発表しました。旭日小綬章を受章したサリマ・スアクリ・ヅィリ氏は、元青年・スポーツ省エリートスポーツ担当国務長官、現国際柔道連盟理事会ディベロップメント・ディレクター、現国際柔道連盟男女平等委員会メンバーとして、アルジェリアにおける柔道の普及と日本とアルジェリアの友好親善に大きく貢献しました。今回の決定により、サリマ・スアクリ・ヅィリ氏は、アルジェリア人女性として初めて日本から勲章を受章し、これまで受章したアルジェリア人の中で最年少の受章者となりました。2人目の受章者はナセル・ルイバ氏で、旭日双光章を受章しました。アルジェリア合気道連盟の会長であり、アフリカ合気道連盟のテクニカル・ディレクターであるルイバ氏は、アルジェリアにおける合気道の普及と日本とアルジェリアの相互理解に大きく貢

献しました。



### 河野大使によるブガリ国民議会議長の表敬訪問

10月11日(火)

10月11日、河野大使はブラヒム・ブガリ国民議会議長を表敬訪問しました。会談では、本年がアルジェリア独立及び日・アルジェリア外交関係60周年の記念すべき年であることに互いに祝意を表するとともに、アルジェリア独立以前からの二国間の歴史的な友好関係について意見交換を行いました。また、将来の二国間関係に関して、議会間の交流や、投資、産業、教育、文化、また観光等の様々な分野における二国間協力について議論を行いました。さらに、TICADや国連など多国間の場における日・アルジェリア間の協力についても意見交換が行われました。



### 河野大使の日本アルジェリア協会における講演

9月30日(金)

9月30日、日本アルジェリア協会にて、河野大使は、最近のアルジェリアの政治経済情勢についてオンラインで講演を行いました。参加者からは、経済改革に取り組むアルジェリアの政策や今後の経済動向について多数の質問がなされ、日本側関係者のアルジェリアに対

する高い関心が示されました。



### **JT(日本たばこ)インターナショナル新旧支店長の訪問**

9月29日(木)

9月29日、河野大使は、アルト・JT(日本たばこ)インターナショナル・アルジェ新支店長及びハディ旧支店長の訪問を受けました。アルトさんは同社のフランス、中東、ナイジェリア、エチオピア支店に勤務し、10月から当国支店長となります。ハディさんは新たにスーダンでの事業に従事されます。在アルジェリア日本大使館一同、アルトさんの着任を心より歓迎するとともに、ハディさんの今後のご活躍をお祈り申し上げます。

JT インターナショナルは、日本最大規模のたばこ会社であり、アルジェリアにも支店を有しています。



### **ABE イニシアティブ研修生との意見交換**

9月8日(木)

9月8日、河野駐アルジェリア日本国大使は、9月から日本に留学する2名の「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABE イニシアティブ)」研修生及び過去の ABE 研修生 1 名を招いて意見交換を行いました。ABE イニシアティブは、アフリカの若者向けに日本の大学での修士号取得及び日本企業などでのインターンシップの機会を提供し、アフリカの産業人材育成と日本企業のアフリカビジネスを支援することを目的としています。

### ABE イニシアティブについて(JICA ウェブサイト)

意見交換の中で、河野大使より激励の言葉をかけるとともに、同研修生が二国間関係の強化に貢献していくことを期待していると述べました。また留学生側からも、ABE イニシアティブ研修生として日本に留学することを光栄に思う旨が述べられ、自らの研究・開発を続け、日アルジェリア二国間関係に貢献していきたいとの決意が表明されました。



### **河野大使がアセンシア ダイアベティスケアのアルジェリア工場を訪問**

8月31日(月)

日本の医療機器メーカーであるPHCグループ傘下のアセンシア ダイアベティスケア(ADC)は、アルジェリアでの糖尿病血糖値センサの生産に向け、日本製の生産設備を設置し、技術移転や人材育成など操業開始のための準備に取り組んでいます。31日、河野大使は同社のアルジェ県工場を訪問し、関係者との意見交換及び工場視察を行いました。同社では、日本と同じ水準の生産設備、各担当の技術力向上、人材育成及び厳格な品質管理に取り組んでいることが確認されました。アルジェ県でADCの生産が本格稼働されれば、アルジェリア政府が取り組む産業の多角化、雇用創出、日本からの技術移転など、当国の経済発展に大きく貢献することが期待されます。



## 河野大使のレジグ商業・輸出促進大臣訪問

8月25日(木)

8月25日、河野大使は、レジグ商業・輸出促進大臣を訪問し、8月27～28日にチュニスで開催される TICAD8 に加え、当国の新投資法や貿易特区をはじめとする二国間貿易の強化について意見交換を行いました。



## 邦人国際機関職員の活躍(黒田晶子 UNHCR プログラムオフィサー)

7月31日(日)

UNHCR アルジェリア事務所の準プログラムオフィサーとして勤務していた黒田晶子さんが新たな任地へ出発しました。黒田さんは JPO の枠組みでミャンマー、スーダンの UNHCR で

勤務した後、2020年の10月からアルジェリアのティンドゥフ事務所に勤務し、NGOとの連携事業調整や渉外、計画立案及びモニタリングのサポートに従事していました。7月からはプログラムオフィサーとして、リビアのミッションを担当しています。在アルジェリア日本大使館一同、日本人職員である黒田さんが当国で活動されていたことを誇りに思うとともに、黒田さんの今後のご活躍をお祈り申し上げます。

日本政府はアルジェリアにおける難民・庇護申請者の医療・衛生サービスなどへのアクセス改善を図るため、UNHCRを通じて140万米ドルの支援を行っています。



### 河野大使のカッサリ財務大臣訪問

7月28日(木)

6月27日、河野大使は財務省においてカッサリ財務大臣と面談を行い、日アルジェリア経済関係についての意見交換を行いました。両者は、租税条約の署名に向けて必要な手続について確認を行った他、日本からアルジェリアへの投資の促進その他の日アルジェリア経済関係の強化の方策についての意見交換を行いました。



## 日・アルジェリア租税条約の実質合意

7月7日(木)

日本国政府とアルジェリア民主人民共和国政府は、両国間の租税条約について、実質合意に至りました。この条約は、両国間の投資・経済交流を一層促進することが期待されるものであり、今後、両国政府内における必要な手続を経た上で署名され、その後、両国における国内手続(我が国の場合は国会の承認)を経た上で発効することとなります。

政府報道発表については、以下をご覧ください。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press3\\_000872.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press3_000872.html)

## 「第60回アルジェリア・独立記念日および日本・アルジェリア国交樹立60周年記念式典」における本田政務官のビデオメッセージ

7月5日(火)

7月5日、駐日アルジェリア大使館主催の「第60回アルジェリア・独立記念日および日本・アルジェリア国交樹立60周年記念式典」がオンラインで行われ、本田太郎外務大臣政務官が祝賀のビデオメッセージを寄せました。

このビデオメッセージの中で、本田政務官は、アルジェリアが日本の友人であり、政治・経済・文化を含め様々な分野における関係を更に強化していきたい旨述べました。また、TICAD8の機会を捉え、両国で連携しながら、引き続きアルジェリアの経済成長や経済多角化に資する協力に取り組み、この節目の年に両国の伝統的な友好・協力関係を一層増進するために、両国関係の発展に尽力する決意を表明しました。

外務省 HP: [https://www.mofa.go.jp/mofaj/me\\_a/me1/dz/page3\\_003359.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/me_a/me1/dz/page3_003359.html)

Youtube: <https://youtu.be/x0H5AQpH6XY>

## 令和4年度自衛隊記念日レセプション開催

7月3日(日)





6月30日、河野大使と小野田防衛駐在官は、自衛隊記念日レセプションを開催しました。同レセプションは、コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、できる限りの感染予防対策を取った上で実施し、アルジェリアの議会及び政府関係者、各国大使及び駐在武官、ビジネス関係者等多岐な分野の方々に出席いただきました。

会場では自衛隊の活動紹介映像の放映並びに同パンフレット及び TICAD8 関連の広報資料を配布するとともに、演奏者のみやざきみえこさんによる琴の演奏の披露に加え、和食及び日本産の飲み物が提供されました。

## シェルギ元アフリカ連合委員会平和安全保障委員・現国民議会対外関係・国際協力部長への叙勲伝達式開催

6月23日(木)



6月21日、河野大使はスメイル・シェルギ氏(元アフリカ連合委員会平和安全保障委員・現国民議会対外関係・国際協力部長)への叙勲伝達式を大使公邸にて開催しました。シェルギ氏は、安全保障分野における TICAD 等を通じた日本のアフリカへの協力において、アフリカ連合の立場から日本の取り組みを支えてくださり、安全保障分野における日本とアフリカ連合の関係強化への功績に対する日本からの高い評価の証として、旭日重光章を受章しました。シェルギ氏からは、受章への感謝と日本のアフリカ諸国に対する貢献への感謝が述べられました。

## 河野大使のゼグダール産業大臣訪問

6月22日(水)



6月21日、河野大使は産業省においてゼグダール産業大臣と面談し、日アルジェリア経済関係について意見交換を行いました。両者は、両国間の実り多いパートナーシップを一層発展させるべく、アフリカへの窓口となりうるアルジェリアへの投資の可能性について意見交換を行いました。

## 日本企業がアルジェリアのインターネット回線強化に参画——日本電気株式会社(NEC)によるアルジェリアテレコム(IT分野)のプロジェクトへの貢献

5月30日(月)

日本の大手グローバル IT・ネットワークサービスプロバイダーである日本電気株式会社(NEC)は、AI 主導ネットワークのリーダーである Juniper Networks 社とともに、アルジェリアの通信市場のリーダーであるアルジェリアテレコム(IT分野)のプロジェクトに参画したことを発表しました。アルジェリアでのインターネットの通信容量増加に対する現在の需要のみならず、将来的にニーズが増加する高速インターネットをサポートするために、近代化された全国的な商用ネットワークを展開します。

詳細については、以下の URL をご覧ください。

[https://www.nec.com/en/press/202205/global\\_20220525\\_01.html](https://www.nec.com/en/press/202205/global_20220525_01.html)

## 第 6 回日アルジェリア・ビジネスクラブ会合の開催

5 月 23 日(月)



5 月 23 日、アルジェ市内のホテルにおいて、第 6 回日アルジェリア・ビジネスクラブ会合が開催されました。河野大使は、メキデシュ同クラブ会長とともに開会の挨拶を行い、新たな投資法案の閣議での採択など最近のアルジェリアにおけるビジネス環境の改善に向けた動きなどに言及しつつ、日アルジェリア間のビジネスの再活性化の機会について述べました。日本側からは、対面で在アルジェリア日本企業、グルニエ JETRO パリ事務所アフリカデスクマネージャー、上野 JICA チュニア所長他が、その他オンラインでも本邦日本企業、武田 JETRO パリ事務所所長、東 JBIC パリ事務所所長、前田 NEXI パリ事務所所長が参加しました。アルジェリア側からは民間企業、経営者連合 (CAP)、企業総連合 (CGEA) 及び外務省等が出席し、対面、オンライン合わせてビジネス・政府関係者約 80 名が参加しました。

この会合は、コロナ禍により約 4 年ぶりの開催となりました。初の対面・オンラインのハイブリッド方式での開催となり、日本側からアルジェリアの関心の高い日本の政府系機関によるビジネス支援事業のスキームを説明するとともに、アルジェリア側からは日本企業の関心の高い再生可能エネルギーや水資源産業に焦点を当てたプレゼンが行われました。

## ハルーン元大臣・弁護士への叙勲伝達式開催

3月24日(木)



3月24日、河野大使はモハメド・アリ・ハルーン氏(元大臣、当館顧問弁護士)への叙勲伝達式を大使公邸にて開催しました。ハルーン氏はアルジェリア独立にあたり中心的指導者として大きくご活躍をされ、独立後も制憲議会議員のほか、大臣や弁護士として活躍されました。これまで20年以上の間、ハルーン氏は顧問弁護士として当館の活動を支え、また日・アルジェリア二国間関係の発展を支えてくださった、その功績に対する日本からの高い評価の証として、瑞宝中綬章を受章しました。

## 河野大使の経団連・中東調査会における講演

3月9日(水)



2月17日に経団連にて、また3月9日に中東調査会にて、河野大使は、政治経済を巡るアルジェリアの最近の動きについてそれぞれオンラインで講演を行いました。参加者からは、アルジェリアの政治情勢や今後の経済動向について多数の質問がなされ、日本側関係者のアルジェリアに対する高い関心が示されました。

## アルジェリア・日友好議員連盟の発足

3月7日(月)



3月7日、河野大使は、国民議会（APN）で開催されたアルジェリア・日本友好議員連盟の発足式に招かれ出席しました。同式典は、ブデン国民議会副議長（外務・協力・移民担当）の進行によって執り行われました。

同副議長からは、式典におけるスピーチの中で、アルジェリア独立解放戦争より前にも遡る日アルジェリア関係の深さに触れながら、議会外交の重要性を強調しつつ、経済分野をはじめとしたあらゆる分野での二国間関係強化に向け、友好議員連盟が貢献することへの期待が表明されました。

河野大使からは、アルジェリア独立前から両国関係の発展に尽力し続けた日本の宇都宮徳馬議員について紹介するとともに、本年外交関係樹立60周年を迎える両国は、経済・産業・経済協力等あらゆる分野で関係を築いてきており、本年開催予定のTICAD8は、両国関係の益々の発展の機会となる旨述べました。また、両国の友好議連が二国間関係の深化に貢献していく旨期待を表明しました。

## 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) との協力プロジェクト

3月23日(水)

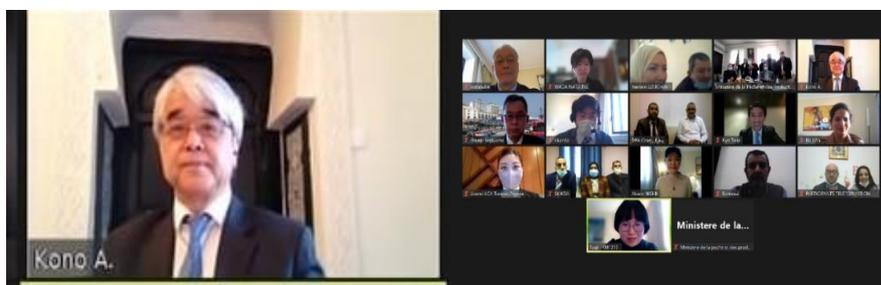


3月23日、河野大使は、ムラ・UNHCR アルジェリア代表の訪問を受け、アルジェリアにおける難民の状況及び UNHCR の当国における活動について意見交換しました。

日本政府は新型コロナウイルス感染症の影響により、基礎的な生活環境が悪化しているアルジェリア国内の難民及び亡命希望者への衛生・生活必需品供与等へのアクセスの改善を図るため、UNHCR を通じて 140 万米ドルの支援を決定しました。本プロジェクトにより、アルジェリア国内の難民・亡命希望者約 10 万人に対し、医療サービスや生活必需品の支援が行われます。なお、本プロジェクトはユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の推進及び持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に沿ったものです。

## 日本人専門家による水産研修の開催

1月27日(木)



1月15日～2月8日、JICA 調査団が当国に訪し、1月27日にオンラインで「参加型アプローチを通じた零細漁業の共同管理」研修最終日が開催されました。本研修は、2021～2022 年度にかけて実施され、日本の水産資源管理に関わる知見を共有し、アルジェリアの各地域の課題に応じた管理計画を策定するものです。日本の専門家たちと現地の研修参加者がオンラインで現状について意見交換を行いました。アルジェリアからはスキクダ県、オラン県及びティジ・ウズ県の漁業・漁業生産省の関係者が参加したほか、事務次官が冒頭で二国間の水産協力に関し述べ、日本の漁業技術への高い関心が見られました。

河野大使は、研修冒頭で、研修主催者・出席者への謝意を述べながら、両国間の水産分野での継続的な協力と今後の新たな可能性について述べました。